

HITACHI
Inspire the Next

空気圧縮機の新回答。

ポイントは
最適な
運用管理です。

日立IoT対応空気圧縮機

NEXT III series



NEXT III の答え：

IoT時代の通信機能と
セキュアな監視システムが、
新時代のライフサイクルコスト削減を実現します。

運用コストを抑えながら、さらなる省エネ／安定稼働が求められる、これからの時代。

製造ライン設備の「戦略的」な運用が不可欠です。

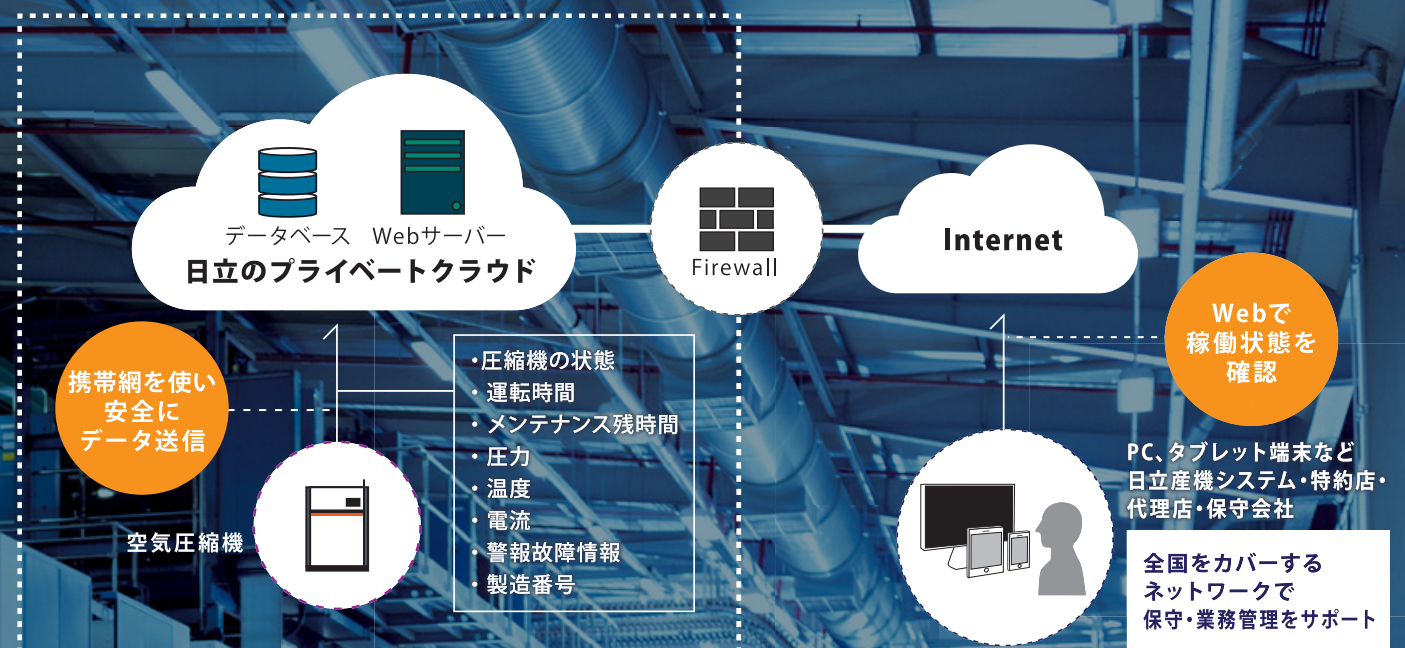
日立IoT対応空気圧縮機 NEXT III seriesは、通信機能を標準装備。

さらに、クラウド監視サービス「FitLiveサービス」を1年間無料でご利用可能*。

電源を入れたその日から、数々のIoTテクノロジーが、新時代のコスト／稼働管理メリットを提供します。

※サービスのご利用には圧縮機のタッチパネルによる初期設定で、クラウド監視サービスを希望されインターネットによるWeb登録が必要です。

安心安全のネットワーク環境



安心のセキュリティ

① 携帯網を使ったデータ送信

インターネットを利用せずにセキュリティの高い携帯網を使い、クラウドまでデータを送信。

※必要な時にデータを見ることができます。

② 携帯網からクラウドまでは専用線を敷設

特別に敷設した専用回線を使ってクラウドに接続するので安心です。

③ 日立プライベートクラウドを利用

遠隔監視専用に構築した、日立グループが提供するクラウドに安全にデータを保存します。

④ 不正なアクセスを遮断するFirewallを設置

インターネットから不正なアクセスを遮断します。パスワードなしには閲覧できません。

※圧縮機の操作はネットワークからできません。

安全

安心

安定稼働

最適化

日立IoT対応空気圧縮機

NEXT III series

NEXT IIIの答え：

コストメリット

24時間リアルタイム監視で設備の安定稼働へ

これまでの事後保全では設備の故障リスクが常に存在し生産計画に支障が発生します。クラウド監視を活用した保守が、安定稼働をサポートします。

安定稼働

クラウド監視サービスで、設備管理業務を大幅軽減

日常管理や故障時の対応、整備や部品の見積対応と現場及び事務処理等の設備管理業務を大幅に軽減。クラウド監視によって緊急対応・状態監視・設備管理をサポートし、設備管理に掛かるお客様の負担を減らします。

管理費削減

機器運用の最適化で更なる省エネ運転へ

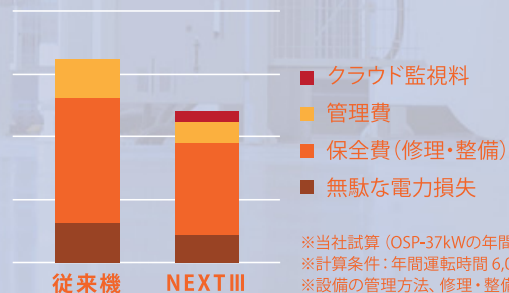
クラウド監視や保守によって、最適なタイミングに機器の状態を改善することで常に効率よく運転します。例) 吸込みフィルタが詰まるだけで空気量は10%減、電力ロスが3%増加します。※10kPaの詰りの場合

無駄な電気代削減

NEXT IIIのコストメリット

日立のクラウド監視「FitLive」によって設備管理工数の削減、修理・整備を最適化、効率の良い運転を実現。

運用コストを26%削減



NEXT IIIとFitLiveは、工場設備の運用効率をピンポイントで改善します。

—導入の主な効果—

- ・修理/整備スケジュールの最適化
- ・設備管理工数削減
- ・事故の発生リスク軽減
- ・不具合対応の削減/迅速化

参考

新時代のライフサイクルコスト管理とは…

省エネ化が進み電力費削減も限界に近づいた現在、これからは「運用コスト」をどう削減するかがポイントになります。

2006年代 圧縮機のライフサイクルコスト
大部分を電力コストが占めていた。



2017年代 圧縮機のライフサイクルコスト
大幅な省エネ化が進み、運用コストの割合が大きくなった。



- ・管理工数のウェイトも拡大。工数&不具合削減も重要な要素になります。
- ・省エネだけでなく運用コストの改善が必要です

NEXT IIIの答え：

面倒な設定不要

搬入／設置後に通信用アンテナを取り付けるだけで、準備完了です。特別なネットワーク設定は必要ありません。

FitLive手続き方法

NEXT IIIには通信機能が標準搭載されています。電源を入れて圧縮機のタッチパネルの質問に答えていくだけでFitLiveサービスへの基本設定ができます。あとは弊社Webサイトから必要事項の登録をお願いします。
※FitLiveサービスの利用料は、最初の1年間は無料となります。



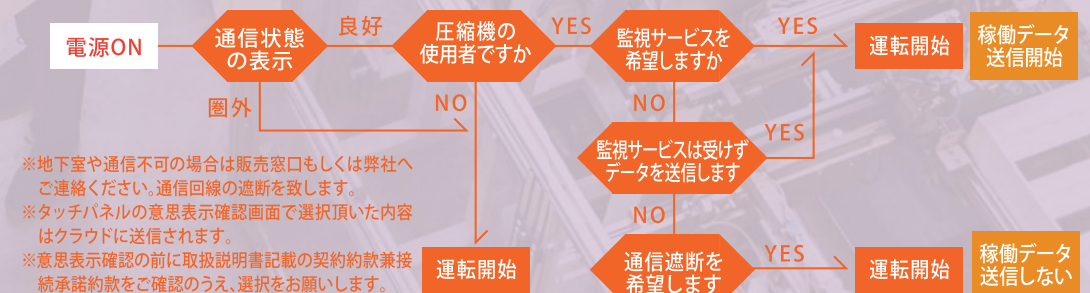
STEP1 アンテナ取付

圧縮機に付属されたアンテナを接続・設置しましょう。
※接続方法について付属されるFitLive用通信アンテナ設置手順書をご確認ください。



STEP2 タッチパネル操作

電源投入後、通信設定をしましょう。



STEP3 Web登録

インターネットよりお客様情報や機器情報などを登録しましょう。弊社ホームページより、FitLiveサービスの必要情報の入力をお願いします。URL (<http://www.hitachi-ies.co.jp/fitlive>)、取扱説明書記載のQRコードからご登録をお願いします。



日立産機システム
ホームページの「FitLive登録ボタン」より



製品付属資料や
取扱説明書の「QRコード」より



その他必要事項を記入

※弊社から契約書が添付されたメールが届きますので契約の手続きをお願いします。 ※FitLive登録画面やWeb画面は変わることがあります。

NEXT III の答え：

導入事例

事例1 設備の故障予兆で、ダウンタイムを最小限に抑えたい。

お客様のお悩み

- ・圧縮機の故障に誰も気付かなかったこの為場内エア圧力が下がって生産に影響を与えた

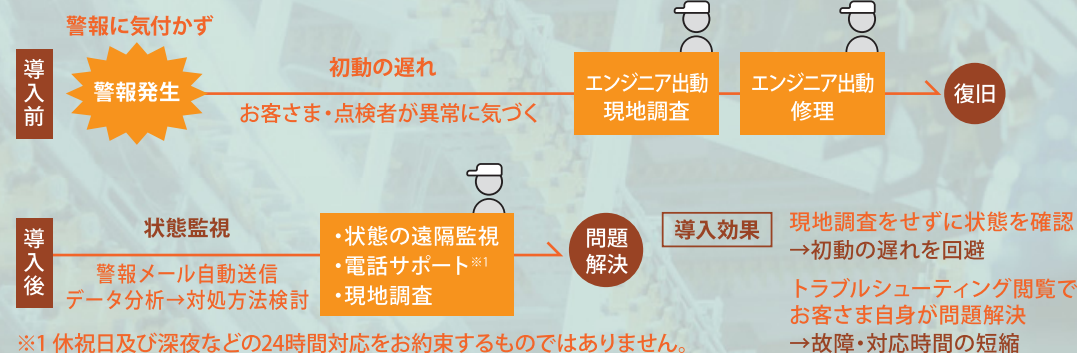
解決

警報発生時はお客様へメールが自動送信する為、警報/故障の見逃しが無くなった！



FitLiveの機能紹介

FitLive導入前後のフロー比較(イメージ)



- ・クラウド監視による24時間稼働状態監視、警報はメールによる自動送信
- ・監視画面に「トラブルシューティング」のアドバイスによりお客様の初期対応が可能に！
- ・故障の時は日立産機のネットワークでサポート

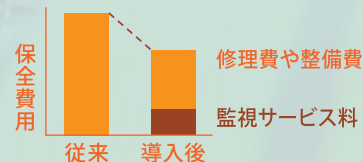
事例2 CBM (状態基準保全) をできるだけ安価に実現したい。

お客様のお悩み

- ・保全費用の低減化を図りたい！整備や修理にかかる費用を抑えたい

解決

クラウド監視導入により
約34%※削減



※当社試算(フルメンテナンス条件のTBMから整備回数、修理回数がある条件のCBMで試算した結果)
※修理・整備回数によって変動します。効果を保証出来るものではありません。

FitLiveの機能紹介

・保守・管理業務をサポート TBM(時間基準保全)からCBM(状態基準保全)へサポート！
FitLiveサービスは集中購買のお客様、セットメーカーさまにも機器管理ツールとしてご利用いただけます。また、FitLiveサービスを採用いただくことにより、従来のTBM(時間基準保全)からCBM(状態基準保全)へ移行することができます。

事例3 圧縮機設備の管理を効率良く、手間なく実現したい。

お客様のお悩み

- ・日常業務が忙しく、圧縮機設備の管理が大変！
- ・事務所で状態管理をしたいが、電気工事の計画や費用が大変！

解決

- ・トレンドグラフやレポート出力で設備管理をサポート！
- ・携帯電話回線の無線通信で面倒な工事や設置費不要

FitLiveの機能紹介

- ・パソコンやタブレット、スマホ等で24時間リアルタイムで状態監視が可能
- ・各種データがクラウドに蓄積いつでもダウンロードが可能
- ・通信機能が標準搭載面倒な設定不要



警報発生
トラブル発生時には、ご登録の端末へメール通知

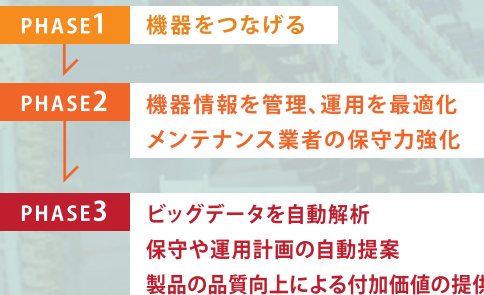
メンテ履歴管理のクラウド化による情報共有
わかりやすいマニュアルでサポートするトラブルシューティング

NEXT III の答え：

IoTソリューションの将来像

総合メーカーの日立だからこそ圧縮機からその他産業製品へ、そして国内からグローバルへ幅広く展開していきます。FitLiveを通じてメーカーの知見・知識をご提供し、設備の運用管理をサポート致します。お客さまからご提供頂いたデータは製品の品質向上やサービス向上に役立てて参ります。

日立IoT技術で広がる新しい設備運用管理



Lumadaのコアソリューションを活用



■ 契約内容比較表

名称	契約内容	FitLive サービス	データ送信のみ許可	希望しない
FitLive 契約意思		FitLive サービスの契約を希望	稼働データの提供のみを希望	FitLiveサービス、稼働データの提供は希望しない ^(注1)
稼働データ提供		送信する	送信する	送信しない
費用		1年目は無料	—	—
製品保証期間 ^(注2)		契約期間中は最大2年保証	1年保証	1年保証
特徴		・クラウドによる状態監視、 設備管理が可能。	・FitLive サービス契約の加入手数料は不要。 ・導入前の稼働データの提供が可能。 ^(注3)	・FitLive サービス契約の加入 手数料が必要。 ^(注4)

(注1) タッチパネルで選択された契約意思についてはクラウドへ送信されます。
FitLive サービスを希望またはデータ送信のみ許可された方は通信が開始され、何も希望されない方は圧縮機の通信設定は直ちに停止いたします。
(注2) 製品取扱説明書および本体貼付ラベルの注意書きに従った正常な使用状態で不具合が生じた場合には無償にて修理をいたします。
(注3) 過去2年間の稼働データのダウンロードとグラフの閲覧が可能です。(注4) 通信事業者との回線登録手続き等の費用がかかります。

■ FitLive 機能比較表

機能名称	契約内容	FitLive サービス	データ送信のみ許可	希望しない
 ひと目でわかる状態表示		○	○ ※60日間のみ有効	—
 現場に行かなくとも状態を確認可能		○	○ ※60日間のみ有効	—
 メール通知		○	—	—
 メンテ履歴管理のクラウド化による情報共有		○	—	—
 グラフ表示		○	—	—
 帳票出力		○	—	—
 部品リクエスト		○	—	—
 トラブルシューティング		○	—	—

【ご注意】

- ・NEXTⅢseriesは、携帯電話の通信機能を有し携帯電話と同等の電波を出し通信をします。
- ・本監視サービスをご利用いただくには別途ご契約が必要です。
- ・本監視サービスは、携帯電話のサービスエリア内でご利用できます。
- ・本監視サービスは、携帯電話のサービスエリア内であっても、トンネル、地下、屋内、ビル陰および山間部など電波の届きにくい場所ではご利用になれない場合があります。
- ・通信機能は携帯電話通信事業者よりベストエフォートにて提供されるので、その通信サービスに依存する本監視サービスの提供について、弊社は保証をいたしません。
- ・埋め込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、装置部位から22cm以上離して利用ください。なおペースメーカには多数の種類がありますので、取り扱いについての詳細は、関係医療機関やその機種の供給元などへご相談ください。
- ・本監視サービスの提供の詳細については、「標準搭載型FitLive加入契約約款兼接続承諾約款」および製品の取扱説明書をご覧ください。
- ・本監視サービスについては、製品サービスの改良などより仕様および記載事項の一部を予告なく変更する場合があります。

 安全に関するご注意	●ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
--	--

環境・省エネに貢献する 株式会社 日立産機システム

お問い合わせ営業窓口

本社・営業統括本部 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル) (03)4345-6041
 関東地区窓口 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地(AKSビル) (03)4345-6045
 北日本支社 (022)364-2710 北陸支社 (076)420-5711 四国支店 (087)882-1192
 北海道支店 (011)611-1224 中部支社 (052)884-5822 中国支社 (082)282-8112
 福島支店 (024)961-0500 関西支社 (06)4868-1226 九州支社 (092)651-0141

FitLiveサービスに関するお問い合わせ

サービス事業部 LCMセンタ (03)4345-6230

信用と行き届いたサービスの当社へ

<http://www.hitachi-ies.co.jp>

●FitLiveは株式会社 日立産機システムの日本における登録商標です。
 ●このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

HC-283-01 2017.9

Printed in Japan(H)